

特別会計 国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入で、その支出を賄うものです。このように独立して採算を行う事業を特別会計として、一般会計と別に経理しています。

会計	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	216億6,500万円	89億1,277万円	41.1%	83億5,493万円	38.6%
土地取得事業	5億円	4億9,717万円	99.4%	4億9,509万円	99.0%
介護保険事業	162億8,900万円	73億4,862万円	45.1%	66億9,327万円	41.1%
簡易水道事業	3,200万円	218万円	6.8%	113万円	3.5%
後期高齢者医療事業	25億3,600万円	7億5,272万円	29.7%	3億3,553万円	13.2%

企業会計 地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。沼津市では、病院事業(市立病院)、水道事業(上水道)、下水道事業の3つの企業会計があります。

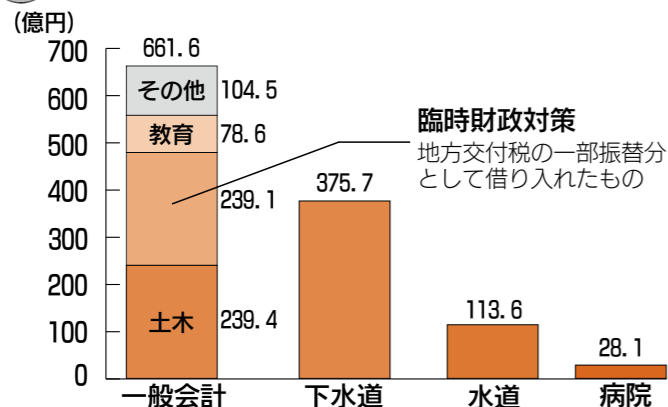
	病院事業会計			水道事業会計			下水道事業会計		
	予算額	執行済額	執行率	予算額	執行済額	執行率	予算額	執行済額	執行率
収益的収入	117億3,782万円	59億5,710万円	50.8%	30億9,000万円	14億5,571万円	47.1%	53億2,129万円	28億7,060万円	53.9%
収益的支出	116億6,342万円	46億6,756万円	40.0%	28億5,200万円	5億4,121万円	19.0%	49億9,574万円	10億7,421万円	21.5%
資本的収入	10億2,421万円	2億375万円	19.9%	10億1,800万円	792万円	0.8%	28億6,991万円	9,865万円	3.4%
資本的支出	13億8,658万円	4億5,083万円	32.5%	26億9,300万円	4億8,214万円	17.9%	46億5,468万円	16億1,129万円	34.6%

市が所有する財産

※()内の数字は1人当たりの財産
人口は194,908人(令和元年9月30日現在)

土地 32,913,762㎡ (168.87㎡)	立木 109,800㎡ (0.56㎡)	建物 650,274㎡ (3.34㎡)
有価証券 7,403万円 (380円)	出資金 15億8,565万円 (8,135円)	基金 194億774万円 (9万9,574円)

市債の現在高



市債の残高は、令和元年9月30日現在、約1,179.0億円です。
1人あたりでは、一般会計で約33.9万円、企業会計で約26.5万円となります。

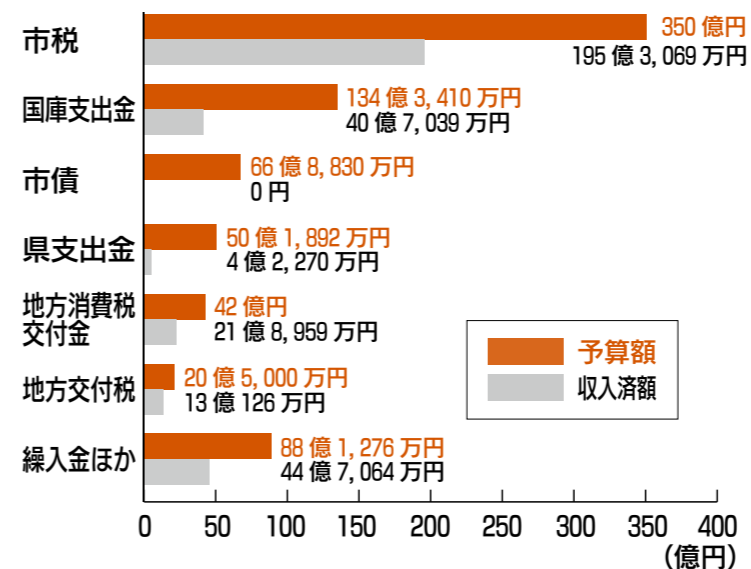
※借り入れた市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設等に充てられます。その施設が、将来の市民にも利用されることから、世代間で公平に整備費用を負担するための一つの方法です。

令和元年度上半期(4月1日～9月30日)の一般会計、特別会計及び企業会計における予算の執行状況をお知らせします。

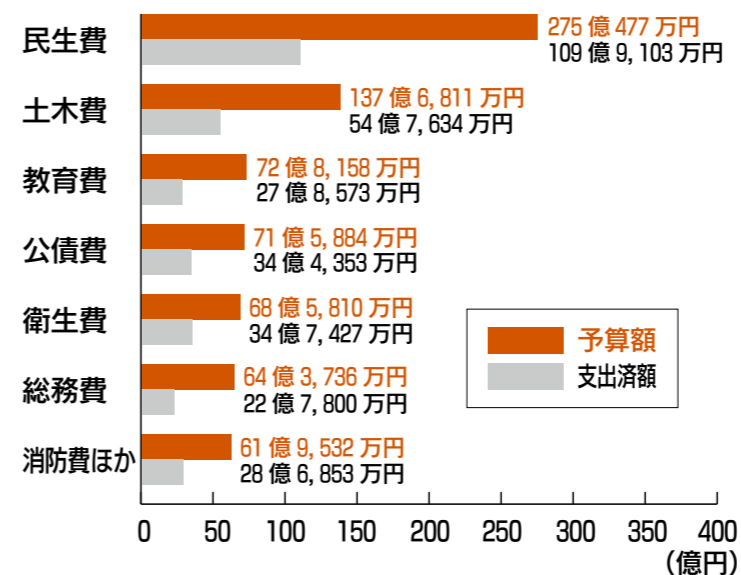
一般会計

市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民の皆さんの暮らしに直接関係のある道路や学校の整備、福祉やごみ処理などの事業を行うための会計です。

【収入】 予算額 752億408万円
収入済額 319億8,527万円



【支出】 予算額 752億408万円
支出済額 313億1,743万円



令和元年9月30日現在、予算額752億408万円に対して、収入率は42.5%、執行率は41.6%となっています。

用語解説

【収入】
市税 皆さんが納めた市民税や固定資産税など
国庫支出金 国からの補助金や負担金など
市債 市が建設事業などの財源に充てるために借り入れる長期の借入資金
県支出金 県からの補助金や負担金など
地方消費税交付金 消費税のうち国から配分されたお金
地方交付税 財源調整などのために国から再配分されたお金
繰入金ほか 基金などから繰り入れたお金など

【支出】
民生費 子供や高齢者等の福祉に使うお金
土木費 道路や河川整備などに使うお金
教育費 学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金
公債費 借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など
衛生費 保健やごみ処理などに使うお金
総務費 市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金
消防費ほか 駿東伊豆消防組合の負担金や消防団の運営など、その他に使うお金

財政課
☎055-934-4715